

## 漢方薬

# 葛 根 湯 Aエキス細粒「分包」三和生薬

カ ッ コ ン ト ウ

### 製品の特徴

葛根湯は、漢方の原典と言われる「傷寒論」「金匱要略」に記載されている漢方処方方で、体力が中等度以上の方の、感冒の初期(汗をかいていないもの)、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛みにも用いられます。

葛 根 湯 Aエキス細粒「分包」三和生薬は、葛根湯をエキス化し、服用しやすい細粒にした製品です。



### 使用上の注意



#### 相談すること

- 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談して下さい。
  - 医師の治療を受けている人
  - 妊婦又は妊娠していると思われる人
  - 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)
  - 胃腸の弱い人
  - 発汗傾向の著しい人
  - 高齢者
  - 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人
  - 次の症状のある人  
むくみ、排尿困難
  - 次の診断を受けた人  
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談して下さい。
  - 服用後、次の症状があらわれた場合

| 関係部位 | 症 状           |
|------|---------------|
| 皮 膚  | 発疹・発赤、かゆみ     |
| 消化器  | 悪心、食欲不振、胃部不快感 |

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

| 症状の名称     | 症 状                                                 |
|-----------|-----------------------------------------------------|
| 偽アルドステロン症 | 尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる、血圧が高くなる、頭痛等があらわれる。 |
| 肝機能障害     | 全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。                      |

- 1カ月位(感冒の初期、鼻かぜ、頭痛に服用する場合には5～6回)服用しても症状がよくならない場合
- 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談して下さい。

## 効能・効果

体力中等度以上のものの次の諸症：

感冒の初期(汗をかいていないもの)、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み

## 用法・用量

1 回下記量を食前又は食間に水又はお湯と一緒に服用して下さい。

| 年 齢        | 1 回量       | 1 日服用回数 |
|------------|------------|---------|
| 大人 (15才以上) | 1 包        | 3 回     |
| 7才以上15才未満  | 2/3 包      |         |
| 4才以上7才未満   | 1/2 包      |         |
| 4才未満       | 服用させないで下さい |         |

食間とは、「食事と食事の間」という意味です。食事のあと2時間ぐらいたったところで服用して下さい。

### <用法・用量に関する注意>

(1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。

## 成分・分量 (3包 (6.0g) 中)

葛根湯エキス……………4.1g

|               |              |             |
|---------------|--------------|-------------|
| カッコン……………4g   | マオウ……………3g   | ケイヒ……………2g  |
| カンゾウ……………2g   | シヤクヤク……………2g | タイソウ……………3g |
| シヨウキョウ……………1g |              |             |

添加物として、乳糖、セルロース、部分アルファー化デンプン、ステアリン酸Ca、無水ケイ酸を含有します。

## 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 1包を分割して服用した残りは、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用して下さい。
- (5) 使用期限を過ぎた製品は服用しないで下さい。
- (6) 本剤は、生薬を用いた製剤ですので、製品により色が多少異なることがあります。が、効果に変わりはありません。

### お問い合わせ先

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店又は下記までご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

湧永製薬株式会社 東京支社 お客様相談室

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2丁目5-1

(03)3293-3363 (ダイヤルイン)

(月～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00 但し祝日を除く)



販売元

**湧永製薬株式会社**

広島県安芸高田市甲田町下甲立1624

本社：大阪市淀川区宮原4丁目5-36

<http://www.wakunaga.co.jp/>

製造販売元



**三和生薬株式会社**

宇都宮市平出工業団地6-1